

自主納税を率先して実践

平成18年度一関市納税表彰式



5団体・767組合・8人が表彰を受けました

るよう着実な取り組みが必要」とあいさつ。表彰状と感謝状の贈呈が行われました。表彰を受けた皆さんは次のとおりです。(敬称略)

市長表彰

市税納税表彰式は11月1日、一関文化センターを会場に行われました。式では、市民憲章唱和の後、浅井市長が「一関のまちづくりに納税を通じ尽力を賜り、深く敬意と感謝を申し上げます。今後とも適正で公正な納税にご理解ご協力をお願いしたい」とあいさつ。続いて、阿部睦一関市納税貯蓄組合連合会長が「納税は地道だが地域づくりに寄与している。市民一人一人に理解してもらえ

▼優良特別徴収義務者(特別徴収義務者として市・県民税の徴収および納付に尽力)
(有)東北クリンサービス
社会福祉法人花泉さくら会
横田建設(株)
(有)三浦建設
社会福祉法人室根孝養会

▼最優秀組合(17年度収納実績100%)
川原田ほか201組合

▼優秀組合(同95%以上100%未満)
永井第34ほか232組合

▼優良組合(同90%以上95%未満)
洪民第3区ほか58組合

▼功労組合(前3カ年平均収納実績から17年度実績が1ポイント以上向上)
千厩・前田ほか202組合

市長感謝状

▼優良退職組合長(昨年中に組合長を勇退され、長年にわたる自主納税・組合運営に尽力)
上野啓治(一関・三反田)
小野寺幸子(花泉・日形第2)
菊地智寿人(大東・猿沢第11区)
鈴木重孝(東山・岩ノ下)
芳賀西彦(室根・第19区)

連合会長表彰

▼優良勤続組合長(長年にわたり納期内完納の促進、納税思想の普及に尽力)
赤塚愛人(一関・一関2区ほか64人)

▼優良功労組合(5年以上継続して年度内納付率100%)
花泉第20ほか4組合

連合会長感謝状

▼永年在任役員(長年にわたり納税貯蓄組合役員として組合の育成活動、運営に尽力)
佐々木元一(一関・五代)
佐藤實(花泉・老松第7区)
小野寺吉男(大東・猿沢第10区)

新「下之橋」の開通式は10月30日、行われ、関係者や来賓、用地提供者などの式典参加者や訪れた大勢の市民約400人が、生活や地域経済を支える橋の完成を祝いました。

開通式は中里中生徒による勇壮な鶏舞でスタート。下田五郎岩手河川国道事務所長と浅井市長は、遊水地事業はまだ多くの工事が残っているが、今後とも協力をお願いしたい。交通渋滞の解消、都市機能の強化により市民生活の利便性、産業経済の振興など市の発展に大きく寄与

三代渡り初めで安全祈る 新「下之橋」が開通



テープカット、三代渡り初めなどで祝った新「下之橋」開通式

開通が待ち望まれていたもので、今後は市と周辺地域の交通拠点へのアクセスや文化、物流、産業などに大きな役割を果たす橋として期待されています。昭和28年から53年間にわたり地域を支えた旧橋は、新橋開通と同時に通行止めとなり、19年度中に解体されます。

すると確信している。式辞を述べました。関係者によるテープカットとくす玉開披の後、一関小マーチングバンドの演奏に合わせて三代夫婦を先頭に渡り初めが行われました。

国土交通省と市が連携し平成5年度から総事業費45億円を投じて整備を進めてきた新「下之橋」は、旧橋の下流350mに位置し、延長185m、幅員両側2.5mの歩道を含む12mで建設されました。県道一関大東線(前堀)の開通、一ノ関駅東口の開設とともに年々交通量が増加して

ご長寿おめでとうございます 県内最高齢の鈴木キヨさん109歳に



親族らに囲まれて誕生日を迎えた鈴木キヨさん

県内最高齢者の鈴木キヨさん(大東町大原)は10月24日、入所先の老人保健施設ほうらいで109歳の誕生日を迎えました。親族や施設職員らに囲まれ、長寿の祝福を受けました。訪れた浅井市長が「大変おめでとうございます。これからもお元気でいてください」と祝いの状と花束を手渡すと、キヨさんはしっかりと口調で「ありがとう」と応じていました。母校の大原小学校歌を口ずさんだり、

ことわざの一部を話したりし、くり返し「ありがとう」と周囲に感謝の気持ちを表していました。キヨさんは明治30年生まれ。子4人、孫、ひ孫、やしゃごは30人以上います。12年にほうらいに入所。介助を受けながら食事は全部食べ、朝は6時に起き夜は8時に就寝と規則正しい生活を送っています。三男の正一さん(76)は「これからも養生して長生きしてほしい」と語っていました。

世界遺産を目指して

日本の世界遺産は

世界遺産講座Vol.6

◆自然遺産
名称(所在地)登録年
①屋久島(鹿児島)平成5年
②白神山(青森県・秋田県)5年
③知床(北海道)17年

◆文化遺産
名称(所在地)登録年
①法隆寺地域の仏教建造物(奈良県)平成5年
②姫路城(兵庫県)5年
③古都奈良の文化財(京都府・滋賀県)6年
④白川郷・五箇山の合掌造り集落(岐阜県・富山県)7年
⑤原爆ドーム(広島県)8年
⑥厳島神社(広島県)8年
⑦古都奈良の文化財(奈良県)

⑧日光の社寺(栃木県)11年
⑨琉球王国のグスク及び関連遺産群(沖縄県)12年
⑩紀伊山地の霊場と参詣道(三重県・奈良県・和歌山県)16年
19年は、石見銀山遺跡(島根県)が世界文化遺産の候補となっており、当市の「骨寺村荘園遺跡」は「平泉―浄土思想を基調とする文化的景観」のコアの一つとして、20年の世界文化遺産登録を目指しています。

◎問い合わせ先
教育委員会文化振興課
☎6595

平泉文化フォーラム「東アジアのなかの平泉」

県教育委員会が平泉文化に関する最新の研究成果を一般に公開しようと毎年度開催している「平泉文化フォーラム」。本年度は岩手大学ほかの研究グループと共同で「東アジアのなかの平泉」をテーマに、平泉と同様に世界遺産登録を目指している中国寧波市から研究者を招き、国内の研究者とともに公開シンポジウムを行います。

どなたでも参加でき、入場料は無料です。
◆日時…11月25日(土)10:00~17:00
◆会場…一関文化センター大ホール
◆内容…林士民中国寧波市文物考古研究所長、保立道久東京大学史料編纂所長らによる講演など
◎問い合わせ先…教育委員会文化振興課 ☎25-6595

「見る・知る・語る“骨寺村荘園遺跡”」シンポジウム

「見る・知る・語る“骨寺村荘園遺跡”」実行委員会は、浄土思想を基調とする文化的景観として世界遺産登録を目指す平泉文化遺産のコアゾーンである「骨寺村荘園遺跡」をよく知ってもらうため、今後どのようにいかしていくべきかについてシンポジウムを開催します。

どなたでも参加でき、入場料は無料です。
◆日時…12月3日(日)13:00~
◆会場…一関文化センター中ホール
◆内容…本中眞文化庁主任文化財調査官による基調講演、「地域の方で、骨寺の景観を未来に手渡そう」がテーマのパネルディスカッション
◎問い合わせ先…同実行委員会事務局(一関文化会議所内) ☎32-4333